

文-16

Vてください

Vて ください
くださいませんか

基 本

例 文

- ① 15 ページ^みを見て^みください。
② テープ^{かいわ}の会話^きを聞いて^きください。
③ 答え^{こた}を書^かいて^かください。
④ もう一度^{いちど}説明^{せつめい}して^{せつめい}くださいませんか。
⑤ A: すみません^{まど}。窓^あを開^あけて^あくださいませんか。
B: ええ、いいですよ。

解 説

- A. 「Vてください」は、丁寧^{ていねい}に指示^{しじ}したり命令^{めいれい}したりするとき^{つか}に使う。(例文①②③)
B. 「Vてくださいませんか」は、話し手^{はな}にとって利益^{りえき}になるような行為^{こうい}を聞き手^きに丁寧^{ていねい}に依頼^{いらい}するとき^{つか}に使う。(例文④⑤)

先生へ

動作主^{どうさしゅ}を限定^{げんてい}する場合は、「～は」^はをつけて示^{しめ}す。

例1 女^{おんな}の生徒^{せいと}は、立^たってください。

2 2年生^{ねんせい}は、あした8時^じに学校^{がっこう}へ来^きてください。

「Vてくださいませんか」は、依頼^{いらい}を受けるかどうか^うを聞き手^きにたずね^{かた}る形^{かたち}になっている。

【関連項目】

- 活-01 Vて形
文-29 Vないでください
文-08 Nをください

【「れんしゅう編」の練習】

- 6-2 わたしは先生です
6-3 おねがいします
6-4 名前を書いてください
9-2 ペンを使わないでください
9-5 お大事に